

流産・死産を経験された方へ



相談窓口・サービス等のご案内



大切なお子さまを、流産や死産などによりなくされた方のつらさははかりしれません。これまで通りの生活を送ることが難しく感じたり、つらい気持ちや悲しみを抱えたまま、誰にも相談できない方もおられます。そのつらい気持ちが少しでも軽くなるお手伝いができればと思います。

相談窓口について

保健師等がお話をうかがいます。ご本人だけでなく、ご家族の方が相談することもできます。ご相談については、匿名でも大丈夫です。

川西市保健センター	Tel: 072-758-4721	平日9時～17時
こども若者相談センター	Tel: 072-740-1248	平日9時～17時



地域で活動する、自助グループ・サポートグループの紹介

グリーフサポートチーム ミチカケア



月の満ち欠けのように日々、変化する気持ちにそっとふれて 自分のことを大切にケア(手当て)するお手伝いが出来ればと思っています。

関西天使ママサロン(ポコズママの会)



社会貢献事業として「小さないのち」とお別れされたご家族のために様々な活動に取り組んでいます。

関西天使ママサロン神戸エンジェルライト



流産・死産(自然/人工)・新生児死などで、赤ちゃんを亡くした方のグリーフケアを目指し、お話会やワークショップを開催しています。

周産期グリーフケアはちどりプロジェクト



ベリネイタル・ロス後の深い悲しみの現実を1人でも多くの人に知ってもらえるよう活動しています。

RainbowDrop 虹の滴



お別れた天使ママとご家族のためのピアサポートグループです。

ピンク&ブルーリボン運動



毎年10月9日から15日は、Baby Loss Awareness Week～亡くなった赤ちゃんとご家族に想いを寄せる1週間～として国際的な啓発週間とされています。流産・死産・新生児死等で赤ちゃんを亡くしたご家族への心のケアや支援の必要性について意識を高め、お空の赤ちゃんへ共に想いを寄せることで、希望を失いかけているご家族の孤立を防ぎ「ひとりじゃないよ」と生きる力を支えることを目的としています。そして、短い時間でも家族に幸せをくれた赤ちゃんの命を讃える大切な機会です。また、流産・死産・新生児死などで赤ちゃんを亡くし、深い悲しみの中にいるご家族を支え、心の支援の必要性を社会に啓発する国際シンボルマークとして「ピンク&ブルーリボン」が使われています。